

(別紙2)

## 地域サポート計画(新規就農者向け)

(令和6年5月現在の情報)

都道府県名	北海道	市町村名	名寄市	問合せ 窓口	(組織名) 名寄市農業担い手育成センター (住所) 北海道名寄市風連町西町196番地1	(電話) 01655-3-2511 (メールアドレス) <a href="mailto:ny-noumu@city.nayoro.lg.jp">ny-noumu@city.nayoro.lg.jp</a>
-------	-----	------	-----	-----------	--	---

### 第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方等、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)			
	令和6年度		令和5年度		令和4年度			令和3年度		
	うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下		
新規就農者数(必須)	7	7	9	9	4	4	1	1		
内 訳	新規参入者数	2	2	2	2					
	新規自営農業就農者数	5	5	7	7	4	4	1	1	
	新規雇用就農者数									

注1: 「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。  
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2: 「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3: 「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	就農に向けた研修から就農初期の不安や疑問の解決をサポートし、一緒に経営安定を目指します。
地域と農業の紹介文	日本一の面積と生産量を誇るもち米をはじめ、様々な作物を生産しています。盆地特有の冷涼な気候で昼夜の寒暖差が大きくアスパラ、スイートコーン、馬鈴薯、南瓜は特に糖度が高く市場から高い評価を受けています。
主な農産物	稲作、麦類作、雑穀・いも・豆類、露地野菜、施設野菜、露地花き・花木、施設花き、花木、酪農
地域が求める新規就農者	経営感覚を養いながら地域の農業者や関係機関・団体と良好な関係を築くことが可能な方。

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	上川農業改良普及センター・名寄市農業振興センター	販路支援	JA道北なよろ
農地確保支援	名寄市農業委員会	生活に係る支援 (住居、子育て等)	名寄市
機械・施設等の確保支援	JA道北なよろ・名寄市	事務局・全体調整	名寄市経済部
資金相談	JA道北なよろ	その他(技術・経営)	集落支援員
農業者による指導	指導農業士・地域農業者	その他(〇〇)	

3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	就農・移住相談対応、就農相談会の開催	新規就農者募集フェアでの出店による相談のほか、随時就農に向けた相談を受け付けています。
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	農作業や農村生活の体験を通じて、環境を知っていただき、就農に関心を持ってもらうことを目的に2泊3日の農業体験を実施。
	ホームページ、パンフレット等での情報提供	<a href="http://www.city.navoro.lg.jp/">http://www.city.navoro.lg.jp/</a>
	その他	
就農前の支援	研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	関係機関(上川農業改良普及センター、JA道北なよろ等)と連携し対応します。
	就農計画作成サポート	関係機関(上川農業改良普及センター、JA道北なよろ等)と連携しサポートします。
	農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	関係機関(上川農業改良普及センター、JA道北なよろ等)と連携しサポートします。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	関係機関(JA道北なよろ)と連携しサポートします。
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	相談内容に応じ、関係部署をご案内します。
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	関係機関(上川農業改良普及センター、JA道北なよろ等)と連携し対応します。
	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	関係機関(JA道北なよろ)と連携しサポートします。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	関係機関(JA道北なよろ)と連携しサポートします。
	地元農家や地域住民との交流促進の取組	青年活動や町内会活動への参加
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	相談内容に応じ、関係部署をご案内します。
	その他	

注: 地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

#### 4 就農までの流れ(必須)

就農相談	就農準備段階	就農
情報収集・就農相談・移住相談	研修の実施 就農計画の作成 農地、機械等の準備	独立・自営就農・雇用就農

5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	165 万円	年間労働時間	1,760 時間
------	--------	--------	----------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	スイートコーン	240 a	1.2 t/10a	売上 700 万円	専従 2 人	1,760 h/年	
	水稻	100	3.5	経費 370 万円			
	アスパラ	50	0.3	所得 330 万円	パート 人		
	カノコソウ	10	0.2				
主な施設・機械等	トラクター	1 台	育苗ハウス	2 棟		台	
	軽トラック	1 台	農機具格納庫	1 棟		台	
	除雪機	1 台	ロータリー	1 台		台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

--

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。